製作:新藤次郎

原作:新藤兼人「三文役者の死」(岩波書店刊)

音楽:林 光 撮影:三宅義行 照明:山下 博 美術:重田重盛 録音:武 進 編集:渡辺行夫

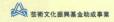
脚本·監督:新藤兼人

SANMONYAKUSHA

竹中直人 荻野目慶子 吉田日出子 乙羽信子

製作:近代映画協会 配給:近代映画協会/東京テアトル 配給協力:メディアボックス 宣伝:ドラゴン・フィルム









第24回モントリオール 国際映画祭正式出品作品

SANMONYAKUSHA

脚本·監督/新藤兼人

製作/新藤次郎 アソシエイトプロデューサー/平形則安 撮影/三宅義行 美術/重田重盛 音楽/林光 照明/山下博 録音/武進 編集/渡辺行夫 スクリプター/吉田純子 助監督/山本保博 製作担当/森賢正

大杉漣、田口トモロヲ、真野きりな、絵沢萌子、六平直政、上田耕一、 木場勝己、原ひさ子、松重豊

配給/近代映画協会、東京テアトル 配給協力/メディアボックス 宣伝/ドラゴン・フィルム

2000年/日本映画/カラー/ビスタサイズ/2時間6分

©近代映画協会









乙羽信子(おカジ)



「悪党」の撮影現場



浮気の現場



竹中直人、荻野目慶子、吉田日出子、乙羽信子

波乃久里子、二木てるみ、倍賞美津子、塩野谷正幸、川上麻衣子、原田大二郎、

戦後の日本映画界になくてはならない貴重なバイプレイヤーとして活 躍した殿山秦司。自らを"三文役者"と称し、女と酒とジャズとミステリ小 説を愛し続けた彼の俳優人生は、実に天衣無縫極まりないものであり、 しかしそんな彼のことを、みな親しみを込めて"タイちゃん"と呼んだ。そして 1989年4月30日、タイちゃん逝く。

近代映画協会50周年記念作品として完成した『三文役者』は、20世 紀末尾を飾る日本映画の決定打として公開される。ひとりの俳優の泣き 笑い人生は、戦後日本映画界の象徴として、またヒューマニズムが強く 求められる現代において、観る者に深い感動を与えてくれるに違いない。

乙羽信子は生きていた。 竹中直人と荻野目慶子の熱愛を証言する。

リスペクト、タイちゃん・♥

かつて殿山泰司という人間がいたっ!

今やモチ上げられて当然というかりそめ感の強い俳優稼業で、自らを 三文のネウチの役者と宣言し、最後まで名誉や栄光のためではなく、 河原者的美意識を全うした偉大なる先人"タイちゃん"!権力やエバる 奴らにゃ、あくまでも個としての尊厳と謙虚さを忘れずノラリクラリと抵 抗し、いち役者であるソウルを貫き通した真の自由人"タイちゃん"!?本 当のオシャレとは、こーゆー人のことでしょ!

何を言わずとも、ただ居るだけでザッツOK!ファニーと言うには破壊的、 ファンキーと呼ぶには土俗的すぎる姿&顔力(かおぢから)!?最早、殿山秦司 という存在がひとつのグレートな作品!そのシャイでスケベエでユーモラスな生き ざまが、同志=近代映画協会の軌跡と共にスクリーンに蘇える!

コレを観て、失われつつある根源的ロックン・ハートを感じよっ! 三文どころか、 三兆以上の価値を見出せること。間違いなしだっ!!

— 田口トモロヲ(俳優・Har'G KAITELS)

「天国からイヒヒヒ!!」

いつも遠いところへ行きたいと考えていたオレも、遂に一番遠い所に来ちまった。ヒヒヒ。 アノ世です、ハイ。でも遠くて近い、近くて遠いのがアノ世なのです。ナンノコッチャ!バ カタレ!ミナ様コノ世の生活はいかがお過ごしでしょうか。アクセクと働きすぎにはくれ ぐれも注意シマショウ。大きなお世話じゃ。シネ!シんどるわい!ところで新藤監督はま た映画を撮ったそうで。しかもオレの映画だというではないですか。三文役者が映画に なるなんて、コノ映画は大丈夫か?本当は心配なんかしてないけどネ。竹中クンがオレで、 荻野目サンのようなお綺麗な方がババァの役だなんて、ウレシモッタイナイ!オイ、バ バァ!皆様に感謝しろ。大喜びするナ!全くオンナは正直ダ!しかしこんな三文役者を 千両役者が演じるなんて良いのかネ。まぁ、本当はオレもウレシいんだけどネ。イヒヒヒ。

- アノ世の殿山泰司より

〈タイちゃんが蘇える〉 12月 16日 (土) より待望の口

●特別前売鑑賞券 1.500円 絶賛発売中!(当日一般1,800円のところ) ■劇場窓口にて前売券お買い上げの方に小田島等デザインポス トカードプレゼント(限定)

●本編開映後のご入場はご遠慮ください

11:20 1:45 4:10

※1/1休館、12/31・1/2は最終回休映 http://www.cinemabox.com/